

第310回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 平成27年4月7日(火) 11:50~13:30
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] K-mix みんなの19HR!
[放送日時] 平成27年4月2日(木) 各15:08~16:55
[出演者] 加藤ジュン、高橋茉奈
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 委員 小野晃司 委員 山本リサ
委員 服部乃利子
[会社] 代表取締役社長 祐嶋繁一
常務取締役放送事業本部長 上野豊
放送事業本部副本部長兼編成制作部長 久保田克敏
編成制作部副部長 寺田和史
編成制作部 安原明子

5. 事務局報告

- 2014年度会社概況について
- 2015年度編成制作部の主要政策について
- 新任委員のご紹介
- 正・副委員長の選任

6. 番組審議

[対象番組] K-mix みんなの19HR!

[放送日時] 平成27年4月2日(木) 19:00~21:00

[出演者] 加藤ジュン、高橋茉奈

[番組内容] 北海道旭川市出身。海と音楽が大好きで、ラジオDJになるために様々な経験(誰にも負けない数のアルバイト経験、海外留学など)をしてきた“イマドキ男子”とは一線を画す気骨男子の加藤ジュンに加え、K-mix新人パーソナリティで、同じく北海道出身の高橋茉奈が火曜と木曜に仲間入り!これまで以上に10代学生にフォーカスして、夜ならではのリスナー・コミュニケーションを目指し

[聴取・合評での主な意見]

- 今どきの10代をあぶりだす楽しい番組だ。
- ターゲットである10代が面白いと思える番組であるのと同時に、大人が聴いて、自分のイメージしている10代の考え方や感性が、実際の10代のそれと同じだったりするのが面白い。
- 高橋さんはアクセントが時々おかしいかったり、ぎこちなさや間の取り方のよくないところがあったりするものの、声がよく、明るいので受け入れられやすい。キラキラした感じがよい。

- 高橋さんが加わって賑やかで、会話が面白い感じになってきた。
- 「サブカル研究部」は10代向けの良いコーナーで、アニメやコミック、ゲームを取り上げるのは良いと思う。
- リスナーに電話をしたり、スタジオに出演させたりして、10代のリスナーが聴いたら自分も出てみたいと思うだろう。
- 二人が聞き上手でないと子供たちは話についていけないと思うので、二人が目線を下げ、リスナーに接することが大切だ。
- 二人が番組を面白くしようと頑張りすぎると、自己満足的なトークになってしまうので、賑やかにし過ぎることのないよう気を付けた方がいい。
- 学校を訪問して突撃インタビュー的な企画をしたら面白いだろう。
- 今後、番組の中で高橋さんをどう使っていく、立ち位置をどこに置くのかを考えていくべき。
- 10代をターゲットにして、リスナーの番組への参加、出演を促しているが、これをさらに推し進めるのか、これくらいを適当とするのか、考えるポイントだ。
- 「サブカル研究部」で一つのテーマを1ヶ月かけて研究するのは、少し無理がある。毎回同じ様な切り口ではなく、4回違った切り口で見せていかないといけない。
- 現状では10代をターゲットにしているスポンサーは付いていないようだが、ターゲットが絞られセールスしやすい番組だと思うので、そうしたスポンサーにセールスしたらよいだろう。

[会社サイド]

前回（第309回）では、以前に増して番組が聴き易くなったと評価いただいた一方、リスナーへの状況説明の点などに改善の余地があるというご意見などをいただきました。いただいたご意見は番組作りの参考とさせていただきます。今回（第310回）ご指摘いただきました点につきましても、今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

以上